

平成27年第6回瑞浪市教育委員会定例会会議録

(要点筆記)

日 時 平成27年5月28日(木) 16時45分開会

場 所 瑞浪市役所 4階 全員協議会室

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 本日の会議録署名委員の指名

日程第3 議 事

出席委員(5名)

委員長	水 野 昌 代
1 番	加 藤 博 之
2 番	矢 野 元 子
3 番	五 嶋 久 年
4 番(教育長)	平 林 道 博

説明のため出席した者の職、氏名

事務局長	伊 藤 正 徳
学校教育課長兼	
学校給食センター所長	藤 井 雅 明
社会教育課長	柴 田 宏
スポーツ文化課長	工 藤 将 哉

職務のため出席した事務局職員

教育総務課総務係長	羽 柴 千 世
-----------	---------

委員長

16時45分、本日の委員会定例会の開会を宣言する。

—市民憲章朗誦—

日程第1、前回会議録の承認を行う。

平成27年第5回教育委員会定例会の会議録の承認は、1番加藤博之委員と2番矢野元子委員が承認の署名を行う。

—署名—

委員長

日程第2、本日の会議録署名委員の指名を行う。

本日の会議録署名委員は、委員長において、3番五嶋久年委員と4番平林道博委員の2名を指名する。

委員長

日程第3、「議第38号 平成27年度瑞浪市教育費にかかる6月補正予算（第2号）について」を議題とする。

事務局に説明を求める。

局長、スポーツ
文化課長

議案資料により説明する。

委員長

本案について、質疑はあるか。

教育長

瑞浪中学校の屋根を直す工事の補正ということだが、どういう直し方をするか。

局長

現在の屋根はアスファルトシングル葺きとあって、フェルト類の基材にアスファルトを浸透させた板状の建材であるが、これは、見た目は柔らかく感じるが、耐久性が低い。費用対効果も見据えてランニングコストがかからないよう工事を行っていく。

教育長

少なくとも、一番上のフェルトを張り替えるだけではないということか。

局長

現在は、フェルトの下に防水シートが施してあるが、今後調査を行い、屋根材も含めて根本的に見直しを行って全面的に改修を行う予定である。

加藤委員

デザインや流行のものを取り入れて耐久性やランニングコストを考えていない設計士が多い。瑞浪中学校はカラーベストの屋根だが、耐久性の無い屋根が付いているという印象がある。是非とも瑞浪北中学校については、省エネだけに捉われず耐久性のあるもので、トータルで費用の安くなる設計に取り組んでいただきたい。

教育長	瑞浪北中学校の設計においては、「ランニングコストを安く」ということを重点課題にしている。
局長	加藤委員の貴重なご意見に感謝する。
五嶋委員	瑞浪中学校の屋根は、切り妻であると思うが、屋根材はフェルトにアスファルトが染み込ませてある素材なのか。
局長	素材は、フェルト基材にアスファルトを浸透させた板状の建材であると専門家から聞いている。
委員長	それでは、質疑を終結し採決を行う。 「議第38号 平成27年度瑞浪市教育費にかかる6月補正予算(第2号)について」を原案のとおり承認することに異議はないか。
各委員	—異議なし—
委員長	ご異議ないものと認める。よって、「議第38号」は、原案のとおり決する。
委員長	つづいて、「議第39号 瑞浪市陶磁資料館専門委員の委嘱について」を議題とする。 本案について事務局から説明を求める。
スポーツ文化課長	議案資料により説明する。
委員長	本案について、質疑はあるか。
教育長	議案資料に記載のある経験年数は専門員としての年数か。
スポーツ文化課長	そのとおりである。
教育長	ベテランの専門員から若手に継続させないといけない。後継者を育成しないといけない。
スポーツ文化課長	担当課としても懸案事項であり、なかなか後継者を見つけるのは至難であるので知識のある方の情報があれば提供願いたい。
委員長	それでは、質疑を終結し採決を行う。 「議第39号 瑞浪市陶磁資料館専門委員の委嘱について」を原案のとおり承認することに異議はないか。
各委員	—異議なし—

委員長

ご異議ないものと認める。よって、「議第39号」は、原案のとおり決する。

以上で本定例会に提出されたすべての議案の審議が終わり、本日の日程が終了したので、これにて、平成27年第5回瑞浪市教育委員会定例会を閉会する。

17時00分終了